



議会だより



9月定例会

- 2 田後公園整備にクラウドファンディングを活用
- 3 5年度各会計の決算を認定
- 4 予算の使われ方をチェック
- 6 審議結果と賛否
- 8 議員報酬を考える
- 9 4議員が町政を^{ただ}質す
- 14 元気いっぱい！！浦富保育所運動会

元気いっぱい
笑顔でよい ドン！！



クラウドファンディングを活用 転落防止柵改修を前倒し



たくさんの応援で改修工事を前倒し(田後公園)

9月定例会

9月定例会を、9月10日から20日まで11日間の会期で開きました。

一般会計補正予算、令和5年度各会計決算など17議案を、原案通り可決・認定・同意しました。

また、議員発議案3件を可決しました。

一般会計補正予算

9584万円を増額し、予算総額を7億439万円としました。

歳出の主なもの

田後公園転落防止柵改修事業

300万円増額

田後公園改修事業の財源とするため、クラウドファンディング型ふるさと納税を募集し、目標金額を上回る寄付をいただいた。

当初は3か年で全区間の改修工事を実施する予定とされていたが、完成を前倒しするよう設計業務委託料を増額する。

寄付者…延べ1543人

寄付金…1773万円

(10月7日現在)

JR利用促進事業

JR山陰本線の利用促進を図ることを目的として、老人クラブが5人以上でJRを利用して活動を行うこ

主な議案の概要

県観光連盟等負担金

100万円増額

県は、2025年大阪・関西万博開催に合わせ、誘客を促進するため県内を万博のサテライト会場「とつとリアル・パビリオン」に見立てて様々な観光コンテンツを提供することとしている。

児童センター整備事業

2734万円

町立本庄スポーツ施設跡地を含む旧本庄小学校跡地に、雨天時など屋外で活動できない場合に子どもが利用できる施設を整備することを考えている。

その際、同一敷地内の既存施設との連携により利用者の利便性向上に取り組み、併せて本庄地区のコミュニティ機能の充実を行う。

整備検討委員会兼設計業者選定審査委員会 3回開催

32万円

設計業務委託料

2702万円

人事

(敬称略)

教育委員会委員の任命に同意しました。

任期は6年10月14日から4年間です。

森本 昌和(恩志)

5年度各会計の決算を認定

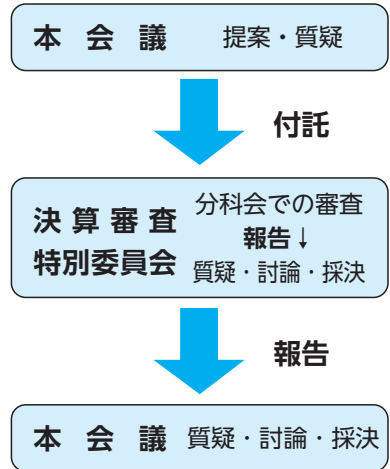
会計別決算額

(万円未満切捨て)

会計名	歳入総額	歳出総額	差引額
一般会計	77億5263万円	75億9213万円	1億6050万円
代替バス運送事業特別会計	5601万円	5601万円	0円
後期高齢者医療特別会計	1億6310万円	1億6224万円	86万円
国民健康保険特別会計	13億3963万円	13億2377万円	1586万円
集落排水処理事業特別会計	1億7833万円	1億5335万円	2498万円
公共下水道事業特別会計	6億3459万円	4億6002万円	1億7457万円
介護保険特別会計	15億9510万円	15億2303万円	7207万円
水道事業会計	2億3251万円	2億3167万円	84万円
病院事業会計	19億2822万円	20億9628万円	△1億6806万円

注：水道事業会計と病院事業会計は、損益計算書（税抜き）による。

決算審査の流れ



【歳出】

一般会計決算

本会議での主な質疑

地域公共交通について

問 JR・路線バスでのキャッシュレスサービスの導入の検討状況はどうか。

答 現在、鳥取駅から倉吉駅までは導入が予定されている。鳥取駅以东については、町村会を通して要請をしている。路線バスについては、県内全部で導入が予定されている。

岩美町アニメ・漫画を活用した観光誘客促進事業費補助金

問 今後、引き続き町のファンになっていただくため、ピーターをつくり、その意見を活用すべきと考えるがどうか。

答 観光協会が町に訪れた方にアンケートをとっており、回答内容を踏まえて今後の観光行政に活かしていきたい。

唐川のカキツバタ再生事業

問 湿原の乾燥化の原因の改善対策は明確か。

答 鳥取大学に調査を依頼しており、カキツバタが減っている原因としてシカの食害、高木林による日照不足、水環境の悪化の指摘を受けている。

対策は鳥取大学と協議し、改善に向けて準備を進めている。

病院事業会計決算

問 看護師の確保に向けて奨学金制度を設けているが、返還免除期間終了後に病院を退職する方がいる。

看護師不足にどう対応するか。

答 病院ではやりがいのある看護現場を目指して取り組んでいる。

全ての看護師がキャリアを向上させるためクリニカルリーダーという評価制度やその評価制度をサポートする目的で看護の手順や様々な研修動画を視聴できるナーシングスキルを取り入れている。

この取り組みにより看護のスキルが上がり、やりがいを感じられる職場を目指し、離職防止を図りたい。



唐川カキツバタ防鹿柵設置

予算の使われ方をチェック

決算審査特別委員会

令和5年度の各会計の決算を審査し、7年度予算などに反映させるため、議長と議会選出の監査委員を除く議員10名で構成する決算審査特別委員会（升井祐子委員長）を設置しました。

この委員会は、総務教育、産業福祉の両分科会で分担して審査し、各分科会委員長の報告をもとに決算全体の審査を行いました。

その結果、いずれの決算も認定すべきものと決定しました。

決算審査報告書（HP参照）のうち主な質疑・意見を掲載します。

一般会計

〔歳入〕

問 町税全体で前年度に比べ減少となったことをどう考えるか。

答 徴収率が減少した要因は5年5月にコロナが5類に移行されたが、コロナ明けで間もないこともあり、徴収猶予をしていた方もいた。

給与所得者等の総所得・課

税標準額ともに増加しているが、物価高騰に賃金上昇が追いついていないため、実質賃金は減となっており、納税窓口に相談に来られる方からも生活が苦しいと聞くことがある。

今後の徴収は、悪質な滞納者には、引き続き差押えなどを行っていくが、生活が困難な方へは福祉事務所と連携し、個々の状況をみながら滞納整理を進めていきたい。

地方交付税について

問 地方財政の充実強化について国への要望に努められているが、当初見込みに比べて実績はどうか。

答 地方財政計画を基に、普通交付税を試算したが、試算を上回る措置があった。

特別交付税は、対象となる事業を確認しながら活用を努めている。

意見 今後も少子高齢化など、地方独自で事業を実施していく必要があるため、さまざまな機会を捉えて要望していただきたい。

〔歳出〕

情報化推進事業

問 デジタル推進係が設置されたが、ICTの導入、DXの推進はどうか。

答 5年度は電子申請サービスの充実や施設予約システムの導入などを行った。引き続き、

県自治体ICT共同化推進協議会で連携し進めていく。

U-Jターン推進事業

問 移住後のフォローや住んでみた感想などを踏まえて魅力発信につなげる必要があるのではないか。

答 空き家バンクを利用して転入される場合、自治会への加入を条件とし、自治会には移住者が地域になじめるよう移住者の支援もお願いしており、移住後の感想は来庁した際に伺っている。

また、情報発信は、地域おこし協力隊がSNSを活用して、町の魅力を発信している。

生活困窮者自立支援事業

問 滞納者のうち生活が窮迫状況にある者に対して、不納欠損に至らないようにするための関係課の体制づくりはどうか。

答 収納調整会議で情報共有を図り、窮迫状況になる前に調査や訪問などを行い自立相談

支援事業につなげている。

今後、先進地の事例を踏まえ更に実効性の高い取り組みとなるよう研究したい。

子どもの居場所づくり推進事業

問 子ども食堂に大人の参加が増加しているが、子どもが世代間交流できる場となっているか。

答 子どもだけの参加から家族での参加に変化しつつある。

子育て世帯以外の方の参加は少ないが、保護者同士の交流と情報交換の場となっている。



おいしい料理で明日も元気(子ども食堂の献立)

中山間地域等直接支払交付金

問 今後の集落協定内における担い手対策、協定農用地内での耕作放棄地をどう考えているか。

答 6年度に地域計画を策定することとなっており、農業者や地域の方との話し合いにより今後の担い手について考えていきたい。

また、耕作放棄地は、現地確認を毎年行っており、作付けしていない農地は草刈りなど適正な保全管理を行っていただいている。

観光誘致宣伝事業

問 インバウンドの対応策をどう考えているか。

答 5年度は町内観光看板にQRコードを取り付けることにより多言語化を実施した。

6年度はWi・Fi設置などにかかる民間事業者への補助制度の創設や観光パンフレットの多言語化のほか、県や麒麟のまちDMOなど圏域

の他団体と連携して万博に向けたインバウンド誘客のための取組を実施している。

町道新設改良事業

問 サイクルルート整備状況はどうか。

答 鳥取県を東西に横断する「鳥取うみなみロード」について、国のナショナルサイクルルートの指定を目指して、5年度から国、県、町で一体的に自転車の走行環境整備と

して、路面に矢羽根表示の設置を進めており、町道については5年度、6年度の2か年で整備が完了した。

代替バス運送事業特別会計

問 公共交通を維持するにあたり、町営バスの5年度の実績をみて、今後の取組・展開をどう考えるのか。

答 一乗車100円や通学費補助の拡充により利用が増加

しており、費用負担が利用に影響していることが確認できた。

また、予約便の利用が少ないことは、もともと利用が少ない時間帯に導入したものであるが、予約が面倒で利用を避けている方もあると思う。

今後は、予約便を利用しやすいように検討することも、利用者の総数を見ながら便数の適正化を図りたい。

意見 利用者の減少には、予約便の抵抗感もあると思うが、人口減少等も確実に影響している。

見直しにあたっては、地域の実態などを把握することも必要である。

国民健康保険特別会計

問 保険料水準の統一に向けた検討状況はどうか。

答 県内で同じ所得水準、世帯構成であれば同じ保険料となる保険料水準の統一に向けては、国保連携会議において完全統一の時期や課題等につい

て、引き続き検討を進める。

水道事業会計

問 将来の経営見通しについてはどうか。

答 5年2月に経営戦略を改定しており、料金収入は年々減少していくが、向こう10年は、資金残高が料金収入を上回っている。

今後は毎年度進捗管理を実施し、5年ごとの見直し又は計画の前提条件の変化が生じた場合には、随時見直すこととしている。



矢羽根が表示されたサイクルルートを走る（網代地区）

9月定例会の審議結果と賛否の状況

【全員一致で可決、認定、同意した議案】

議 案 名		議 案 名	
条例他	国民健康保険条例の一部改正	5 年 度 決 算 の 認 定	一般会計
	教育委員会委員の任命同意		代替バス運送事業特別会計
補正予算	一般会計補正予算（第4号）		後期高齢者医療特別会計
	代替バス運送事業特別会計補正予算（第1号）		国民健康保険特別会計
	介護保険特別会計補正予算（第1号）		集落排水処理事業特別会計
	下水道事業会計補正予算（第1号）		公共下水道事業特別会計
	病院事業会計補正予算（第1号）		介護保険特別会計
議員発議	総務教育、産業福祉常任委員会の行政事務調査		病院事業会計
	持続可能な学校の実現をめざす意見書		
	総務教育、産業福祉常任委員会の所管事務調査		

【賛否が分かれた議案】

提出者	議 案 名	審議結果	賛否の状況
町長	一般会計補正予算（第3号）	可決	反対：田中克美
町長	5年度水道事業会計決算の認定	可決	反対：田中克美

請 願 ・ 陳 情 審 査 結 果

件 名	結 果	賛否の状況	不採択の理由
<p>現行の保険証とマイナ保険証の選択制を堅持し、現行の保険証を廃止しないよう国に意見書をあげるよう求める請願書</p> <p>提出者：鳥取県社会保障推進協議会 会長 藤田 安一</p> <p>紹介議員：田中 克美</p>	不採択	<p>採 択 升井祐子 田中克美</p> <p>不採択 森田洋子 田中伸吾 寺垣智章 宮本純一 川口耕司 柳 正敏 足立義明 澤 治樹 (欠 席 吉田保雄)</p>	<p>現行の保険証が廃止された後も使用可能な猶予期間があり、マイナ保険証以外にもマイナンバーカードを取得していない方や健康保険証の利用登録をしていない方には資格確認書の発行により保険診療は可能である。</p>
<p>訪問介護費の引き下げ撤回と、介護報酬引き上げの再改定を早急に行うことを求める請願書</p> <p>提出者：鳥取県社会保障推進協議会 会長 藤田 安一</p> <p>紹介議員：田中 克美</p>	不採択	<p>採 択 田中克美</p> <p>不採択 升井祐子 森田洋子 田中伸吾 寺垣智章 宮本純一 川口耕司 柳 正敏 足立義明 澤 治樹 (欠 席 吉田保雄)</p>	<p>訪問介護の基本報酬の引き下げは、訪問介護の利益率が全介護サービスの平均を大きく上回っているなど、他の制度と整合性をとるため実施している。小規模な事業者などから引き下げへの反対もあるが、国は今後の対策についても検討を行っている状況であり、現段階で賛同することは適切でない。</p>

件名	結果	賛否の状況	不採択の理由
母（王乖彦）が中国で不法に逮捕されている件に関する陳情 提出者：張 一文	不採択	不採択 升井祐子 森田洋子 田中伸吾 寺垣智章 宮本純一 川口耕司 柳 正敏 足立義明 田中克美 澤 治樹 (欠席 吉田保雄)	事実確認がとれないため。
ゆたかな学びの実現・教職員定数改善をはかるための、2025年度政府予算に係る意見書採択の陳情について 提出者：鳥取県教職員組合東部支部 支部長 常藤 充博 外1名	趣旨採択	趣旨採択 升井祐子 森田洋子 田中伸吾 寺垣智章 宮本純一 川口耕司 柳 正敏 足立義明 田中克美 澤 治樹 (欠席 吉田保雄)	—
「持続可能な学校の実現をめざす」実効性ある学校の働き方改革、長時間労働是正を求める意見書採択の陳情について 提出者：鳥取県教職員組合東部支部 支部長 常藤 充博 外1名	採 択 (意見書提出)	採 択 升井祐子 森田洋子 田中伸吾 寺垣智章 宮本純一 川口耕司 柳 正敏 足立義明 田中克美 澤 治樹 (欠席 吉田保雄)	—

討 論

一般会計補正予算（第3号）

（可決）

反対（田中克美議員）

標準準拠システムのために独自施策ができない事例が起こっており、憲法と地方自治法が定める団体自治を否定することにつながるもので、当該システム移行には反対する。

関西万博は安全宣言が出されていないので夢洲は万博会場にふさわしくない。そうした万博開催を前提にした予算には反対する。

水道事業会計決算の認定

（可決）

反対（田中克美議員）

飲料水への消費税課税は、生計費非課税の原則に反する。

現行の保険証とマイナ保険証の選択制を堅持し、現行の保険証を廃止しないよう国に意見書をあげるよう求

める請願書

（不採択）

採 択（田中克美議員）

マイナンバーカードの登録や情報の紐づけにとまどう人が後を絶たない。医療機関側も、窓口が混乱し、医療機関では対応できないことが起きている。

こういったトラブルが減らない限り現行の保険証を廃止してはならない。

採 択（升井祐子議員）

マイナ保険証一本化であると災害時に使用できない場合があり脆弱である。紙の保険証など複数手段を用意しておくべきである。

不採択（柳 正敏議員）

国は全ての方が安心して確実に保険診療を受けられる環境整備を進めており、本請願は、これからの社会全体のデジタル化に逆行するものである。

訪問介護費の引き下げ撤回

と、介護報酬引き上げの再改定を早急に行うことを求める請願書

（不採択）

採 択（田中克美議員）

厚労省自身が示した資料でも、3年連続で訪問介護事業所の4割が赤字となっており、倒産により訪問介護事業所の空白地域が全国で広がっている。

不採択（柳 正敏議員）

国は改定による影響を十分に調査、検証するとともに、現場の負担や保険料、利用者負担への影響なども考慮して丁寧に検討している。

適切な措置を講じ、かつ今後の対策についても十分検討を行っている状況であり、現段階で賛同することはふさわしくない。

議会が報酬額(案)を算定

町民の声をきき、報酬審議会に諮問・確定します

審議会丸投げ
は止める!



地方自治にとって議会は不可欠な存在です。

その議会で、少数立候補と低い投票率が続いています。

町民の多様な声を代弁し、行政をチェック、政策を提言する—これが議会の役割です。私たちは、議会が将来にわたって存続するための条件の1つが、議員報酬にあると考えました。

報酬の在り方を検討し、これまでの決め方を改め、町民の皆さんの声をきかせていただくことにしました。

意見交換会を開催します

- 9月下旬から町民の声をきかせていただく意見交換会を呼び掛けています。10月上旬までに2回行いました。
- ぜひ声をきかせて下さい。
議会が出向きます。
(議会事務局にご相談ください。)



県内の議会で初の試み

岩美町の議員報酬の決め方 3つの特徴

特徴 1

- 報酬月額(案)を議会が自ら算定する
- 算定の基準は町長の給料月額
- 議員の活動時間(日数)と町長の活動日数を比較する

$$\frac{\text{議員の日数}}{\text{町長の日数}} \times \frac{\text{町長の給料}}{\text{給料}} = \text{報酬月額}$$

特徴 2

- 算定した報酬月額(案)について町民の声をきく
- そのうえで再算定して、報酬審議会への諮問内容を決める

特徴 3

- 諮問内容について報酬審議会と意見交換する
- 審議会の答申を尊重する

一般質問

4議員が^{ただ}町政を質す

一般質問は、議員が自らの調査・研究、住民の声にもとづき、町執行部の方針を質すものです。





結果として「現行の政策変更」や「新規政策を採用」させるなどの効果があります。

【質問のルール】

事前に質問要旨を通告し、議長の許可を得て質問します。

質問時間は1人30分以内（答弁の時間を除く）で、一問一答方式で何度でも質問できます。

9月定例会の一般質問（登壇順）QRコードから一般質問の動画をご覧いただけます。

質問議員	ページ	質問事項（通告書のまま）	
森田洋子	10	1 認知症施策のさらなる充実を 2 町職員の副業について	
川口耕司	11	1 地域農業の将来を考える地域計画策定について 2 農地活用と振興作物について 3 災害時に円滑に避難できる環境整備を	
升井祐子	12	1 G I G Aスクール構想の現状と今後の対策は 2 インフラ整備について	
田中克美	13	1 12月2日の保険証新規発行停止にむけて 2 会計年度任用職員の公募によらない再採用について 3 島根原発の事故による避難者の受け入れについて	

・議会だよりでは、内容を1議員1ページに要約しています。議会ホームページでは、動画をご覧いただけます。

・会議録は、12月頃から議会事務局や議会ホームページでご覧いただけます。

ユマニチュードの普及に努めよ

森田洋子議員

関係団体に紹介し、意見を聞きた
い



森田洋子議員

割は重要だ。

認知症を正しく理解するための養成講座を受講したサポーターは、全国で1549万人である。

本町の取り組み状況は。

町長 昨年は104名が新たに受講した。

基本法成立後、町は法の趣旨にのっとり内容を改定し

た。

そのなかで、学ぶサポーターから地域で行動するサポーターに変更し、幅広い年代のサポーターを増やす。

森田 認知症の人に寄り添うケア技法としてユマニチュードがある。

国内の研究結果では、認知症の人の心理症状の改善、ケアする人の負担軽減など有効性が確認された。
岩美病院は導入しないか。

小谷病院事業管理者 優しさを伝えるためのコミュニケーション技術と認識する。

効果がどうか勉強し、検討

したい。

森田 福岡市は、ユマニチュードを本格的に取り組んでいる。

本町も普及させてはどうか。

※ユマニチュードとは、「人

間らしさを取り戻す」ことを意味するフランス発祥の認知症のケア技法のこと。

町長 福岡市の事例を勉強し、関係団体に紹介して意見を聞き、今後の取り組みの参考にしたい。

地域貢献副業活動の導入を急げ

森田洋子議員

職員の意向を確認し、検討したい

長戸町長

森田 農業の担い手不足、人口減少で、高齢化による草刈りなどが困難となり問題だ。

本町には、町民と行政の窓口役の集落担当員がいるが役割は。

森田 北栄町が6年4月より地域貢献副業活動の制度を導入された。

農業、地域の作業をし、地域貢献する職員の副業を認めようか。

町長 集落担当員は、6年度は39集落に配置し、要望事項の解決に取り組んでいる。

町長 職員の意向も確認し、検討したい。

濱野健康福祉課長 現在、要支援、要介護の認定を受けた人が872名、うち認知症と判断された人は717名である。

森田 認知症サポーターの役



認知症サポーター養成講座を受ける岩美中学生

地域計画策定の進捗状況は

川口耕司議員

本年度末までに策定する

長戸町長



川口耕司議員

川口 農業経営基盤強化促進法改正で7年3月までに、人・農地プランに代わる地域計画の策定が義務づけられた。進捗状況はどうか。

町長 地域計画は、各地域で協議の場を設置し、地域農業の問題や課題を協議して作成することとなっている。町では、町内全地区を対象に農用地利用集積検討会を開催し、地域の農業に係る諸課題について協議を行った。目標地図の基となる農地利用の現況地図を作成した。今後、農業委員会で現況地図を基に目標地図の素案を作

基本的には、人・農地プランに位置付けられている担い手の方で、10年先も地域で農地が守っていただけるか、守っていけない場合に新たな担い手が確保できるか、全町で調整していきたい。

成し、関係者から意見を伺い、本年度末までに全地域での地域計画を策定する。

川口 現行の人・農地プランの活用はできないのか。

町長 人・農地プランは集落単位だ。地域計画は町内10の地区に区分けして作成する。地域計画の内容と重複する部分は地域計画に盛り込みながら効率的に作成したい。

川口 目標地図の作成は概ね10年後を見据え、誰がどのように農業を進めるか、農地利用の方針を反映するものだ。目標地図に位置付けられる人の条件はあるか。該当者がいない場合はどうなるか。

町長 担い手として位置づけられた方が耕作者として名前がある。

川口 農地の大部分を担い手が引き受けている地域もあるが、目標地図をどう作成するか。

町長 農地の大部分を担い手が引き受けている地域には、既存の農事組合法人、認定農業者の方が継続して耕作することの確認を行い、目標地図に掲載していく。

川口 地域計画と国の補助事業は関連付けられるか。

町長 国の補助事業には地域計画の策定を採択要件としている事業もある。地域計画で位置付けられた農業者を担い手とすることで補助金の要件を達成する事業もある。

将来的な農業関連の国・県の補助事業の採択を考えると地域計画は策定しておく必要がある。

そば乾燥調製施設の整備を

川口耕司議員

現段階では考えていない

長戸町長

川口 水田農業における振興作物として、短期間で収穫可能なそばを推進しているが4年度からの作付け状況はどうか。

杉本農林水産課長 4年度8・7ヘクタール、5年度11・9ヘクタール、6年度12・1ヘクタール、となっている。

川口 岩美町産のそばを活用

して道の駅きなんせ岩美などで販売している。乾燥調製を担う場がないため町外の乾燥施設まで搬入をしている。

そばを振興し面積も増えている中で、町内で乾燥調製ができる施設の整備を考えないか。

町長 現在の収穫量でのそばの販売や生産者の方が開拓された販売ルートは、継続していただきたい。現段階では町で乾燥調製施設を持つ考えはない。

その他の質問 災害時に円滑に避難できる環境整備を



そばを作付けした田んぼ（蒲生地内）

ICT機器の専門家を招いて学んではどうか

升井祐子議員

学校とも相談しながら検討する

大西教育長



升井祐子議員

教育長 互いのパスワードが簡単に分からない仕組みを作って管理し、道徳的な指導も行っている。

升井 タブレット端末は家庭でも使用する。危険性やリスク、対処方法を保護者と共有しているか。

升井 GIGAスクール構想が開始され、本町でも生徒1人にタブレット端末を1台配る取り組みをし、約3年が経過した。メリットを伺う。

教育長 情報活用能力を早い段階から身につけられ、習熟度に合わせた学習に取り組みやすくなった。

教職員は、画面上でのデータを共同で編集するなど、効果的な指導が可能となった。

升井 授業用のタブレットを使ったいじめ事件への対応はどうか。

から検討したい。

升井 9月2日の新聞報道で、県内の特殊詐欺による被害が過去最多で、SNS型も急増しているとのこと。

特殊詐欺に特化した窓口を学校に設置するなど対策を強化してはどうか。

教育長 現在の体制の中で子どもが相談しやすい環境に努めたい。



タブレット授業の様子(岩美中学校)

町民へ、インフラ整備計画の情報提供を

升井祐子議員

分かりやすく見ていただけるよう工夫する

長戸町長

升井 来年は大阪万博が開催されるが、本町の誘客ツールの予定はどうか。

町長 名探偵コナン鳥取ミステリーツアーが県、JR西日本、県内の市町村が連携して万博期間中の来年7月より行われる。

升井 このような観光客を迎えるにあたり、本町はインフラ的に修繕の必要な箇所がたくさんあると思うがどうか。

町長 限りある財源の中で、歩行者や通行車両の安全性を第一に考え、修繕の優先順位をつけ、実施をしている。

升井 道路の街路灯について、必要な箇所だけでも改善はできないか。

町長 街路灯は、町で設置するものと、集落からの要望で

設置するものがある。改善の要望があれば建設水道課にご相談いただきたい。

町では毎年11月から12月に全部の集落に対して、街路灯の要望についてはお尋ねをしている。

升井 町民の方へインフラ整備の計画を情報提供してはどうか。

町長 道路や橋りょうなど整備計画の掲示をしているが、もう少し町民の皆さんに分かりやすく見ていただけるように工夫をしたい。

保険証廃止の撤回を求めよ

田中克美議員

国はカードの安心な利用に適切な対応を

長戸町長



田中克美議員

田中 マイナ保険証の利用率は伸びず、7月の利用率は11・13%だった。マイナ保険証の利用率が悪い医療機関に個別に働きかける方針だ。

マイナ保険証の利用は患者の任意だ。利用率が低いのは利用機会を奪っているからだとして、個別に働きかけることは医療機関への脅しではないか。

町長 マイナ保険証を利用できる体制がない医療機関もあると、国は考えていると受け止めている。

町長 利用するかどうかの判断は患者さんの自由意思によると認識している。

田中 マイナ保険証の利用は11・13%、紙の保険証は88・87%が実態。医療現場ではトラブルが続き、利用率が上がったらどうなるんだーそれが医療機関の思いではないか。

田中 医療機関が、個別の働きかけを受ける法令上の根拠はないと思うが。

町長 どういう根拠か承知していない。

田中 利用率の向上は医療機関の義務ではないと思うがどうか。

保険証がトラブルを解決しているのが実態だ。

紙の保険証をなくすことは保険診療そのものを危うくすることになる。

町がなすべきことは、町民にマイナ保険証利用を勧めることではなく、「保険証廃止

は撤回」か「保険証新規発行停止の延期」を求めることではないか。

町長 国には、マイナンバーカード制度の安全安心な利用を図れるよう適切な対応をとっていただきたい。

田中 答弁は併用でいけるとのことだ。

厚労省職員が利用しないのは、メリットを感じないからだ。

小谷病院事業管理者 岩美病院ではトラブルは発生していない。

田中 岩美病院で起こっていないからいい、という姿勢は問題だ。

会計年度任用職員の公募なし再採用を

田中克美議員

国のマニュアルを参考に検討したい

長戸町長

田中 国は6月28日、会計年度任用職員の採用について示したマニュアルを改正し、公募によらない再度の採用回数の上限を連続2回までとしていた取り扱いをやめた。

町も初回の公募採用の後には、公募なしの再採用にすることを求める。

町長 再度の採用については、国のマニュアルを参考に検討したい。

田中 1年毎の採用制度は維持されるので、雇用が不安定な状況は続く。

恣意的な雇止めにならないよう、人事評価を当事者に開示するなど、透明にすべき。

町長 評価結果の公表も含め、見直しを検討したい。

その他の質問

島根原発の事故による避難者の受け入れについて



岩美病院の受付



浦富保育所運動会

親子で写真を撮りました



9月28日(土)、浦富保育所の運動会が岩美北小学校体育館で行われました。かわいい子どもたちの活躍を見ようと、おとうさん、おかあさん、おじいさん、おばあさんなど多くの方が集まり、にぎやかな運動会となりました。



浦富保育所保護者会長
山口 洋一さん

5年ぶりに2歳児以上全体での開催になりました。コロナ禍ではクラスでの入れ替わり制で開催していましたが、このたびは、2歳児以上での参加で盛り上がり、また、他のクラスの競技も見ることができたのでとてもよかったです。

年長さんは久しぶりに親子リレーをしたので、親子ともに頑張っている様子を見てて楽しかったです。



議会だより調査特別委員会

委員	委員	委員	委員	委員	委員	副委員長	委員長	議長
升井 祐子	吉田 保雄	田中 伸吾	川口 耕司	柳 正敏	田中 克美	寺垣 智章	森田 洋子	橋本 恒

残暑のなかの稲刈りも終わり、やっと秋らしくなってきました。

このたび、議長を除いた8名が新たに編集委員となり、私が委員長に選任されました。

議会だよりが皆さんにとって読みやすく、議会活動がよりわかりやすく伝わる紙面に努めてまいります。

また、現在、政策提言や議員報酬の見直しなど議会活動の在り方検討特別委員会のなかで進めております。

さまざまなお意見をお聞かせください。

森田 洋子

編集後記